



2019年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年3月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 2019年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第3四半期の連結業績（2018年5月1日～2019年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第3四半期	389,099	3.4	16,437	0.8	16,584	4.7	10,258	14.6
2018年4月期第3四半期	376,371	3.2	16,312	△5.9	15,846	△9.8	8,949	△22.6

(注) 包括利益 2019年4月期第3四半期 9,772百万円 (△4.2%) 2018年4月期第3四半期 10,196百万円 (△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第3四半期	82.82	82.63
2018年4月期第3四半期	71.69	71.51

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第3四半期	285,372	146,672	50.9
2018年4月期	301,167	143,750	47.3

(参考) 自己資本 2019年4月期第3四半期 145,212百万円 2018年4月期 142,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2019年4月期	—	20.00	—	—	—
2019年4月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2019年4月期の連結業績予想（2018年5月1日～2019年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	507,800	2.6	23,000	4.3	22,500	4.9	14,000	11.5	111.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期3Q	89,212,380株	2018年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2019年4月期3Q	659,872株	2018年4月期	499,602株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期3Q	88,572,201株	2018年4月期3Q	88,702,763株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第3四半期	87.82	87.62
2018年4月期第3四半期	76.69	76.51

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2019年4月期	—	25.00	—		
2019年4月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	121.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年4月期3Q 34,246,962株 2018年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2019年4月期3Q 1,115,412株 2018年4月期 837,653株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年4月期3Q 33,276,977株 2018年4月期3Q 33,783,347株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、企業業績や雇用環境に改善が見うけられ、緩やかな景気回復が続きました。

飲料業界におきましては、消費者の根強い節約志向の継続や自然災害の影響もあり、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。なお、特別損失として、自社の品質基準に達していない一部製品の廃棄等に関連する費用として6億73百万円、「平成30年7月豪雨」などによる災害関連費用として69百万円を計上しております。

売上高	3,890億99百万円（前年同期比3.4%増）
営業利益	164億37百万円（前年同期比0.8%増）
経常利益	165億84百万円（前年同期比4.7%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	102億58百万円（前年同期比14.6%増）

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

当社が掲げております長期ビジョン「世界のティーカンパニー」の実現を目指すにあたり、抹茶を成長事業のひとつとして位置づけて展開を強化していくため、独自の宇治抹茶新ブランド『四方の春（よものはる）』を立ち上げ、2018年11月より一部製品に使用しております。

近年、抹茶は飲用だけではなく、お菓子や料理などの原材料として使用されるなど広く普及しています。海外においても、カフェなどで抹茶を使用した数多くの商品が展開されており、またその健康性から「スーパーフード」としての認知が広がりをみせるなど、国内外ともに今後も更なる市場拡大が見込まれます。こうした背景から新ブランドを立ち上げました。

『四方の春』には、「新しいことの始まり」や「幸せ（おめでたい）」という意味があることから、「抹茶の新しい楽しみ方を提案したい」という想いを込めて、ブランド名に採用いたしました。

この『四方の春』を使用した製品の展開に加え、当社が日本茶の魅力をお伝えする催し「伊藤園大茶会」などを通じて、抹茶の魅力と新しい楽しみ方を提案してまいります。「お茶といえば伊藤園」「抹茶といえば伊藤園」というマインドシェアを高め、日本と世界のお茶（抹茶）市場をリードしてまいります。

海外におきましては、和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、米国、中国を中心に「グローバルブランド」で展開するリーフ製品「MATCHA GREEN TEA」や「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。

なお、茶系飲料No.1ブランド「お〜いお茶」において、1985年に発売した「缶入り煎茶」を1989年2月1日に「お〜いお茶」にネーミング変更してから30周年の節目を迎えました。1990年3月にペットボトル入り製品を緑茶飲料として世界で初めて発売、2000年10月にホット対応ペットボトル製品を発売、2010年6月に軽量化・薄肉化した環境配慮型ペットボトルを採用、2016年9月に電子レンジ対応製品を発売するなど、生活習慣や販売環境の変化に対応した製品の販売を行い、この30年間の累計販売本数は310億本（525mlペットボトル換算）を突破いたしました。今後も「お〜いお茶」は、さらなる発展を目指し、「日本の文化」と共に歩み続けてまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は3,580億22百万円（前年同期比3.2%増）となり、営業利益は137億76百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、季節限定ビバレッジ「黒蜜きなこ抹茶ラテ」などを発売し、ご好評いただきました。また、お食事のニーズにお応えするパスタ新商品「ペコリーノロマーノ 香る3種のチーズパスタ」なども好調に推移しました。新規出店は、東京丸の内に東京商工会議所ビル店をオープンするなど順調に進み、総店舗数は723店舗になりました。

引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は261億35百万円（前年同期比6.1%増）となり、営業利益は29億72百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

<その他>

売上高は49億41百万円（前年同期比2.7%増）となり、営業利益は6億33百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

総資産は2,853億72百万円となり、前連結会計年度末と比べ157億95百万円減少いたしました。これは主に、「現金及び預金」が24億38百万円減少、「受取手形及び売掛金」が98億60百万円減少、「リース資産」が37億56百万円減少したことによるものです。

負債は1,386億99百万円となり、前連結会計年度末と比べ187億16百万円減少いたしました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が64億57百万円減少、「未払費用」が32億85百万円減少、「リース債務」が40億10百万円減少したことによるものです。

純資産は1,466億72百万円となり、前連結会計年度末と比べ29億21百万円増加いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が102億58百万円増加し、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が52億12百万円減少、自己株式の取得により「自己株式」が16億89百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年6月1日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,664	59,225
受取手形及び売掛金	58,083	48,222
商品及び製品	30,833	31,322
原材料及び貯蔵品	7,875	9,571
その他	12,451	10,325
貸倒引当金	△69	△79
流動資産合計	170,838	158,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,592	22,352
土地	21,745	22,188
リース資産(純額)	24,010	20,254
その他(純額)	17,474	19,359
有形固定資産合計	84,822	84,155
無形固定資産		
のれん	16,364	15,017
その他	5,224	4,363
無形固定資産合計	21,588	19,380
投資その他の資産		
その他	24,197	23,505
貸倒引当金	△279	△257
投資その他の資産合計	23,918	23,248
固定資産合計	130,329	126,784
資産合計	301,167	285,372
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,879	23,421
短期借入金	2,020	2,020
リース債務	7,002	5,427
未払費用	25,896	22,611
未払法人税等	3,948	2,341
賞与引当金	3,480	1,820
その他	4,961	3,952
流動負債合計	77,187	61,595
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,922	44,872
リース債務	10,282	7,846
退職給付に係る負債	9,922	10,216
その他	4,101	4,169
固定負債合計	80,228	77,104
負債合計	157,416	138,699

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,645	18,640
利益剰余金	110,066	115,036
自己株式	△2,798	△4,377
株主資本合計	145,826	149,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,951	2,352
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	337	125
退職給付に係る調整累計額	△525	△425
その他の包括利益累計額合計	△3,289	△4,000
新株予約権	97	122
非支配株主持分	1,116	1,337
純資産合計	143,750	146,672
負債純資産合計	301,167	285,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2018年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)
売上高	376,371	389,099
売上原価	198,485	205,949
売上総利益	177,885	183,149
販売費及び一般管理費	161,572	166,712
営業利益	16,312	16,437
営業外収益		
受取利息	54	53
受取配当金	68	68
持分法による投資利益	120	192
その他	437	402
営業外収益合計	680	717
営業外費用		
支払利息	512	360
為替差損	348	15
その他	285	195
営業外費用合計	1,147	570
経常利益	15,846	16,584
特別利益		
固定資産売却益	9	9
固定資産受贈益	23	2
投資有価証券売却益	0	551
その他	0	44
特別利益合計	33	608
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	38	140
投資有価証券評価損	—	10
投資有価証券売却損	—	13
減損損失	237	160
たな卸資産廃棄損	—	673
災害による損失	—	69
その他	1	—
特別損失合計	278	1,068
税金等調整前四半期純利益	15,600	16,124
法人税等	6,579	5,606
四半期純利益	9,021	10,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	259
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,949	10,258

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2018年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)
四半期純利益	9,021	10,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	676	△600
為替換算調整勘定	291	△236
退職給付に係る調整額	87	100
持分法適用会社に対する持分相当額	119	△8
その他の包括利益合計	1,175	△745
四半期包括利益	10,196	9,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,089	9,547
非支配株主に係る四半期包括利益	107	225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2017年5月1日 至 2018年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	346,936	24,624	4,810	376,371	—	376,371
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	291	16	2,260	2,569	△2,569	—
計	347,228	24,640	7,071	378,940	△2,569	376,371
セグメント利益	13,875	2,707	675	17,258	△945	16,312

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△1,124百万円、セグメント間取引179百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	358,022	26,135	4,941	389,099	—	389,099
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	330	10	2,159	2,500	△2,500	—
計	358,353	26,145	7,101	391,600	△2,500	389,099
セグメント利益	13,776	2,972	633	17,382	△944	16,437

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△1,122百万円、セグメント間取引178百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。